

令和3年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立大阪城音楽堂
施設所管課・担当	教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習担当
条例上の設置目的	市民の情操教育及びレクレーション運動の普及向上を図るため、音楽の演奏その他行事を行うことを目的とする。
業務の概要	大阪城音楽堂の管理運営 大阪城音楽堂の利用案内・受付、要望・苦情対応、音楽堂内施設管理、関係機関との連絡調整など、音楽堂の貸出に関する業務等を実施
成果指標	年間利用件数
数値目標	年間利用件数100件以上
指定管理者名	大阪城パークマネジメント共同事業体 構成員：大阪城パークマネジメント株式会社 株式会社電通 関西支社 讀賣テレビ放送株式会社 大和ハウス工業株式会社 大阪本店 大和リース株式会社 株式会社NTTファシリティーズ
指定期間	平成27年4月1日～令和17年3月31日
評価対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

2 管理運営の成果・実績 (単位：件)

成果指標	年間利用件数	
数値目標	100	
年度実績	101	
達成率	101.0%	

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	50,636人	23,315人	27,321人
稼働率	33.0%	24.4%	8.6%

3 収支状況 (単位：円)

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	13,957,463	26,259,530	13,957,463	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による損失補填
	計画	—	—		
利用料金収入	実績	40,192,103	20,062,995	5,602,103	緊急事態宣言解除後の音楽堂利用の予想以上の増加
	計画	34,590,000	26,700,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	—	—	—	
	計画	—	—		
営業外収益	実績	679,938	958,245	679,938	雇用調整助成金等収入
	計画	—	—		
合計	実績	54,829,504	47,280,770	20,239,504	
	計画	34,590,000	26,700,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	18,168,084	18,071,149	2,568,084	正規社員4名分の社会保険料、通勤費等を予算外にしていたため
	計画	15,600,000	13,128,000		
物件費	実績	42,598,720	30,247,215	6,337,720	リハーサル室空調更新・客席照明設置・汚水槽水中ポンプ更新など緊急性を伴う改修等が必要となったため
	計画	36,261,000	42,643,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	—	—	—	
	計画	—	—		
営業外費用	実績	708	13,468	708	共通費用
	計画	—	—		
合計	実績	60,767,512	48,331,832	8,906,512	
	計画	51,861,000	55,771,000		

令和3年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用件数100件以上	101.0%	B	緊急事態宣言等により休館期間があったものの目標件数は達成できた。

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
緊急事態宣言解除後の音楽堂利用の予想以上の増加により収入は計画を大幅に上回った。しかし、事業継続に必要な緊急の設備改修等が重なったことにより、結果として、支出超過となり、市から損失補填を実施。	－	新型コロナウイルスの影響により市全体の変動納付金なし

（3）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	B	施設の管理運営状況について、本市が求める水準に従って維持管理できていた。平等利用の確保、職員の体制、危機管理・安全管理業務等についても本市が求める管理水準に達していた。
	事業計画の実施状況	B	新型コロナウイルス感染拡大対策として、昨年度作成した音楽堂利用時のガイドラインを、音楽堂利用者からの意見も参考にしつつ更新した。また、音楽堂利用に不慣れな利用者に対しては、感染対策の徹底と指導等も行い、音楽堂からクラスターを発生させないように努めた。 本市主催のたそがれコンサートの開催日を金曜日から水曜日に調整変更し、週末の音楽堂利用促進につなげた。
	施設の有効利用	B	大阪城公園全体を指定管理として運営していることから、他施設とも連携し、施設の有効利用に取り組んだ。
社会的責任・市の施策との整合性		B	職員の人権研修の実施や個人情報その他の文書を適切に管理等計画どおり達成するなど、一定評価できる。

5 利用者ニーズ・満足度等

R3年度については、実施に至りませんでした。R4年度は必ず実施すべく、実施手法や実施内容について内部で協議を進めている。
--

6 外部専門家意見

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を予測することは難しく、当該年度においても適正な評価がし難いものであった。 一方で「ウィズコロナ」を意識した取組や事業展開を行うなど、コロナ禍でも工夫を行い、対応できていたことは評価できるので、継続して取り組んでいただきたい。 コロナ禍を事由に未達成・未実施であった項目については改善できるよう、大阪市と指定管理者とで連携し対応されたい。 満足度調査について、各施設について適切に実施した上で今後の運営に活かされたい。

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		B	緊急事態宣言等により休館期間があったものの目標件数は達成できた。
市費の縮減		－	新型コロナウイルスの影響により市全体の変動納付金なし
管理運営の履行状況	施設の設置目的の達成及びサービスの向上	B ⁺	おおむね事業計画に沿った事業実施が図られているとともに、新型コロナウイルス感染拡大対策として、昨年度作成した音楽堂利用時のガイドラインを、音楽堂利用者からの意見も参考にしつつ更新を行った。また、本市主催のたそがれコンサートの開催日を金曜日から水曜日に調整変更し、週末の音楽堂利用促進、強いては収入増につなげた。
	施設の管理運営		
	事業計画の実施状況		
	施設の有効利用		
	社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価		B	昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響にもかかわらず、利用者促進に向けたサービスの向上に積極的に取り組み、成果指標を達成している。 また、スケジュール調整等による増収策を図るなど、効果的な運営を行っている点は評価できる。 今後もさらなる利用促進に向け、一層の努力を期待する。